



TITLE:

統計力学の諸問題シンポジウム

AUTHOR(S):

CITATION:

統計力学の諸問題シンポジウム. 物性研究 1967, 8(2): B56-B56

ISSUE DATE:

1967-05-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/86039>

RIGHT:

基研短期研究会報告

統計力学の諸問題シンポジウム

1968年9月には京都において統計力学の国際会議が開かれる予定で、その準備を兼ねて上記題目の京大基研短期研究会が1月30日、31日に開かれた。統計力学の諸問題の現段階を討論し、会議のあり方、主題等を決める上の資料とするのが目的である。予算の都合上各地を代表して一部の方々しか招くことが出来なかったが、招待参加者は次の通りである。

堀 淳一(北大)； 桂 重俊，広池 和夫(東北大)
久保 亮五，小野 周，阿部 竜蔵，伊豆山健夫，中嶋 貞夫
鈴木 増雄(東大)； 戸田 盛和(東教育大)； 橋爪 夏樹
(お茶の水大)； 碓井 恒丸，中野 藤生(名大)；
松原 武生，富田 和久，寺本 英，西川 恭治，山本 常信
松田 博嗣(京大)； 中村 伝，金森 順次郎(阪大)；
森 肇，川崎 恭治(九大)。

30日は、液体の統計力学(広池)，スピン系の統計力学(桂)，多体問題(阿部)，2次相転移と異常緩和(森)，乱れた格子の統計力学(松田)に関するreview的な講演があった。ついで国際物理学連合統計力学熱力学委員会幹事の久保より1968年国際会議開催準備についての経過報告，時期，場所主題，summer school との関連，proceedings，組織委員会およびその委員の選出，準備の進め方そのtime schedule，Preliminary announcement，費用の見積り調達方法等についての説明および問題提起が行なわれた。これをめぐって活発な討論があった。特に主題の選定について長い時間がかけられたが，結局主題案を世話人が作ることになった。

31日は昨日について量子液体(碓井)，非線型系(西川)，プラズマの統計力学(市川)についての講演があり，非線型揺動-散逸および非線型応答の問題(久保)，非線型振動子系の問題(戸田)，Diffuse collective mode(富田)についてのコメントがあった。終って自由討論に入った。前日よりの宿題の主題案として世話人よりStatistical Physics of Random Systems(時間，空間のrandomness)，Dynamical Aspects of Criti-